

北海道北斗市における基本計画の概要

令和4年12月23日同意

計画のポイント

北斗市は、一次産業と商工業を中心に発展し、農業は水稻が盛んで、露地・施設園芸野菜（長ねぎ、トマト、きゅうり等）を組み合わせた複合経営が主体となっている。また、近年、大手ビール会社が醸造用ブドウ園を開設、複数の農業法人が醸造用ブドウの栽培に力を入れており、今後ワイナリーの建設などワインを核とした地域振興が期待されている。

商工業は、セメント工場のほか、食料品製造関連業、自動車関連業を中心に、製造業、卸売・小売業、サービス業、運輸業等の計108社が操業している。また、北海道新幹線新函館北斗駅、函館江差自動車道、国道227号、228号など各種交通網の結節点となっている優位性から、物流拠点としての機能も大きくなってきている。

こうした地域特性を活かし、物流、食料品製造、観光を更に推進し、地域経済の稼ぐ力の増加を目指す。

促進区域

北海道北斗市

経済的効果の目標

1件あたり平均45百万円の付加価値額をもたらす地域経済牽引事業を3件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.393倍の波及効果を与え、促進区域で188百万円の付加価値額創出を目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

- ①【地域の特性】北斗市の高規格幹線道路函館・江差自動車道等の交通インフラ
【活用戦略】物流
- ②【地域の特性】北斗市のトマト、醸造用ブドウ等の特産物
【活用戦略】食料品製造
- ③【地域の特性】北斗市の醸造用ブドウ園等の観光資源
【活用戦略】観光

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,458万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ・売上：10%以上増加
- ・雇用者数：2人以上増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の課税免除措置
- ・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・情報処理の促進のための環境整備（公共データの活用）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応（相談窓口の設置）等

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・（公財）函館地域産業振興財団
- ・北斗市商工会
- ・（株）北洋銀行
- ・道南つみ街信用金庫
- ・渡島信用金庫
- ・函館商工信用組合

計画期間

計画同意の日（令和4年12月23日）から令和9年度末日まで